

10. 長野県飯田市

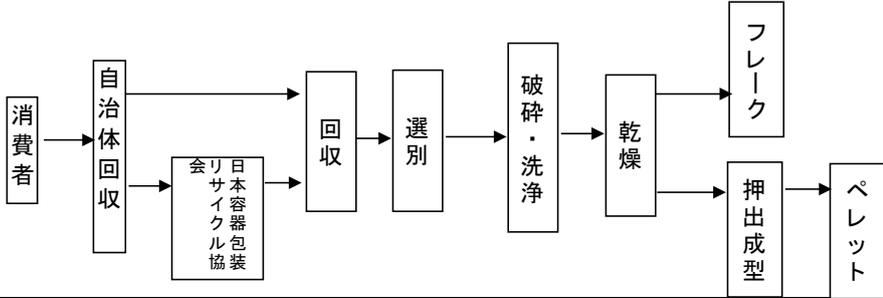
エコタウン名称	天龍峡エコバレープロジェクト			
承認年	平成9年(H09.07.10)			
エコタウンの特長	<p>「エコタウン地域」の指定を受けて、本格的な整備をスタート。飯田市では、地域住民、産業界の取組みを「新しいまちづくり」につなげようと、環境と調和する、産業と交流拠点の先進的地域形成プロジェクトとして「天龍峡エコバレープロジェクト」を計画し、民・産・学・官の連携のもとに取組みを開始。平成11年度飯田市環境産業公園に環境産業リサイクル関連企業が立地。(2社)資源の再利用や自然環境問題を楽しみながら学べる機会を提供。その他、エコハウジングビレッジ(環境調和型の住宅地整備)、エコファクトリーゾーン(農工商観の連携による新産業の創出)、滞在・体験型観光の推進に取り組んでいる。このプロジェクトは、地域から環境産業を育成し持続可能なコミュニティを構築していこうとする、「まちづくり」そのものであり、長期的視点からライフスタイルや産業構造を革新し、地域産業を育て人々の生活の中に真の豊かさを与え、将来に向かって資源循環型社会の構築に貢献していくことを目指す。</p>			
URL				
自治体の取組	財政面の支援	例) 補助金、優遇措置、等	エコファクトリーゾーン等への企業進出に伴い、企業振興促進事業補助金、企業立地促進事業補助金を交付。エコハウジングビレッジへ企業人材確保住宅を建設。企業(製造業)等が必要とする重要な任務を担う人材を確保するための支援とした住宅がある。	
	事業面の支援	例) 独自の認定制度、展示会、商談支援、等	「ぐりいいんだ(飯田市環境配慮型製品)」の認定。各種展示会や広報活動を通して認定品のPRを行い、公共事業等においては認定品を積極的に活用する。飯田市の支援期間は5年間。(市内の事業者等が開発、製造した環境配慮型製品を飯田市が独自に認定するもの。平成23年8月25日現在、18製品を認定。)	
	その他	例) 産官学連携、協議会等の設置、情報発信、等	飯田市環境産業公園内に飯田市環境技術開発センター設置し、新たな時代を創造する新規事業のための支援を行う。このセンターで環境関連技術を核にした新分野への進出や、新技術開発・研究を行い、当地域を活性化する企業の成長を支援する。(公財)南信州・飯田産業センターや産官学連携による支援「インキュベーション・マネージャー」等のアドバイスにより研究、商品開発や事業化、市場展開のための必要な支援を行う。	
問合せ先窓口	担当部署名	産業経済部 工業課		
	担当者名	宮田 和久・近藤 寿二		
	連絡先	電話番号	0265-22-5644	
		FAX	0265-24-0962	
Eメールアドレス		kougyou@city.iida.nagano.jp		

10.1 株式会社アース・グリーン・マネジメント

10.1.1 事業者情報

名 称	株式会社アース・グリーン・マネジメント			
本社住所	〒395-0041	長野県 飯田市 中央通り 1丁目 26 番地		
資本金、出資金	50,000 千円			
従業員数	20 人			
設立年月日	平成 12 年			
URL				
事業概要	<p>容器包装リサイクル法に基づき、公益財団法人日本容器包装リサイクル協会、地方自治体などから廃PETボトルを引取り、リサイクルしている。製品は、再生PETフレーク及びペレットで、販売先はシートメーカー、繊維メーカーで、再生PETシート、再生ポリエステル繊維としてエコマークをつけて再び消費者に使用していただく。</p>			
事業所写真				
問合せ先窓口	部署名	リサイクル推進室		
	担当者名	室長 代田 勇		
	連絡先	電話番号	0265-28-5288	
		FAX	0265-28-5277	
E メールアドレス		earth.g@eos.ocn.ne.jp		

10.1.2 技術情報

キーワード	PET ボトル		
技術名称	フレーク及びペレット製造技術		
技術の分類	加工・成型(再生品化)		
目的・用途	フレークは再生PETシートとして、ペレットは再生ポリエステル繊維またはシートとして使用されます。		
特長	独自の技術で、マテリアルリサイクルにも関わらず、異物を限りなく除去して、バージン材の品質に近づけるべく、品質改善に努めています。		
設備、製品等の写真、イメージ			
処理フロー図			
廃棄物の種類	一廃	PETボトル	受入条件、形状 圧縮梱包。金属、異樹脂ボトル、夾雑物の混入が無いこと
供給資源・製品	ペレット		形状 2.5~3.0mm φ × 2.5~3.0mmL
	フレーク		形状 φ 8mm以下
アピールポイント	廃棄物等排出者側のメリット	例) 処理料金、買取料金、環境負荷削減効果、等	廃棄物の削減。マテリアルリサイクルすることでの資源有効活用。
	製品購入者側のメリット	例) 環境負荷削減効果、製品の品質、販売価格、等	バージンペレットからのCO2発生量の60%を削減できる。
	その他	例) 受賞歴、施設見学受入者数、等	地元小学生、環境ボランティア等、見学の受け入れによる環境学習への貢献。

10.1.3 実績情報

主な調達先	公益財団法人 日本容器包装リサイクル協会
主な供給先	国内 紡績会社及びシートメーカー